

いしかわ総合スポーツセンター

(石川県金沢市)

障害の有無に関わらず誰もが安心して競技や観戦のできる優しいスポーツ施設を目指し、バリアフリー検討会を設置して設計・施工に関する意見交換やモニター検証を行い、施設整備に反映させた。開館以来、車椅子バスケットボール等の団体による自主的な障害者スポーツ大会の開催等、多くの障害者に活発に利用されている。

【功績概要】

「競技力向上」や「生涯スポーツ社会の実現」、「健康増進」を目指して整備された、石川県におけるスポーツ振興の中核施設である。

計画・設計にあたっては、障害の有無に関わらず誰もが安心して競技や観戦のできる優しいスポーツ施設となるよう、多方面からの意見を集約し、関係者が一体となって計画を進めていくため、バリアフリー検討会やワーキンググループを立ち上げ、バリアフリーに対応した設計や具体的にどのような設備を設置するかなど、綿密な意見交換を行うとともに、モニター検証を繰り返し行い、施設整備に反映させた。その際に、地元企業とも連携し、水回り車いすなど、福祉機器の製品開発等も行われた。

開館以来、県内の車椅子バスケットボール等の団体が自主的に障害者スポーツ大会を開催する等、多くの障害者スポーツ団体がこの施設の完成によって主体的に活動を活性化し、積極的な利用が行われている。



多目的シャワールームの実寸モデルを用いたモニター調査



車いすの方にも優しい観客席